

年間指導計画表

教科・科目	外国語・コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	4
		学科・学年・学級	普通科普通 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力をさらに伸ばし、社会生活において活用できるようにする。
使用教科書・副教材等	『Element English Communication III』（啓林館） 『必携英単語LEAP』（数研出版） 『NEO現代を読む Standard / Advanced』（いいずな書店） 『共通テスト英語リスニングオリジナル問題集 NEW EDITION TOUCH 10』（桐原書店） 『共通テスト英語リスニングオリジナル問題集 NEW EDITION TRY 30』（桐原書店） 『共通テスト英語リーディングオリジナル問題集 増補改訂版 TACKLE 40』（桐原書店） 英語長文問題演習【入門編Plus】（桐原書店） 英語長文問題演習【必修編Plus】（桐原書店）

2 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨	評価方法	配分
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	提出物	25%
b. 外国語表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	提出物、小テスト、パフォーマンステスト、定期考査	25%
c. 外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	提出物、小テスト、パフォーマンステスト、定期考査	25%
d. 言語や文化についての知識・理解	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を実につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	提出物、小テスト、パフォーマンステスト、定期考査	25%

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4 5 6	35	Discourse Navigator1・2	1. ミクロパラグラフ・パラグラフ内の構造をつかむ 2. マクロパラグラフ・パラグラフ間の構造をつかむ				○
			Lesson 1 Lies, Damned Lies, and Statistics	1. 数値データをもとに論じている様々な社会問題についての話を聞いたり、読んだりして、問いに答えるのに必要な情報だけをつかむ 2. グラフや表を見て、適切な表現を用いながら英語で描写する				
			Lesson2 Language Extinction	[Speaking] グラフや表を見ながらメモなどの準備ができれば70wpmの速さで描写したり、それについて意見を言ったりすることができる [Writing] 辞書を使わずに20分で80字程度の英語で段落間の構成を意識しながら意見を書くことができる [Reading] 数値データをもとに論じている様々な社会問題についての話(2級程度)を100wpmで読み、必要な情報を掴むことができる [Listening] 大まかな情報を聞いて理解する。必要な情報だけを聞き取ることができる	○	○		
			Lesson3 Environment or Orangutans?					
				第1回考査		○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期	7 8 9	35	Discourse Navigator3・4	3. 例示・追加・列挙のパラグラフ展開とディスコースマーカー 4. 批評読み(クリティカルリーディング)				○
			Lesson4 The Truth about Grit Lesson5 A Class from Stanford University	1. 「事実」と「意見」、「一般化した概念」を区別しながら、教育に関する文章を読んだり聞いたりして、自分が意見するのに必要な情報を批判的に得ることができる 2. 読んだことを踏まえて、自分の意見を構成(パラグラフライティング/スピーキングからエッセイライティング/スピーキングへ移行する)を意識して伝えることができる [Speaking] 読んだことをメモなどの準備ができれば70wpmの速さで、それについて意見を言うことができる [Writing] グラフや表を見ながら辞書を使わずに20分で60語程度の英語で描写することができる [Reading] 教育に関する様々な社会問題についての話(準1級程度)をディスコースマーカーに気を付けながら読み、「事実」と「意見」、「一般化した概念」を区別しながら必要な情報を掴むことができる [Listening] 教育に関する話を聞いて、問いに答えるのに必要な情報を得ることができる			○	○
			第2回考査			○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
後期	10 11 12	35	Discourse Navigator5・6・8	5. 比較・対照のパラグラフ展開とディスコースマーカー 6. 原因・結果のパラグラフ展開とディスコースマーカー 8. 未知語の推測				○
			Lesson 6 The Mpemba Effect Lesson7 Invisible Gorilla Lesson 10 All the Good things	1. 「因果関係」や「比較対照」を意識しながら、科学に関する文章を読んだり聞いたりして、ディベートするのに必要な情報を批判的に得ることができる 2. 読んだことを踏まえて、自分の意見を因果関係を意識して伝えることができる 3. 様々な随筆文を読んで、条件に応じて要約したり、必要な情報を取り出してまとめることができる [Speaking] 読んだことをメモなどの準備ができれば80wpmの速さで、それについて意見を言うことができる [Writing] 辞書を使わずに20分で80字程度の英語で因果関係や比較対照を意識しながら意見を書くことができる [Reading] 科学に関する様々な社会問題についての話(準1級程度)をディスコースマーカーに気を付けながら読み、「事実」と「意見」、「一般化した概念」を区別しながら必要な情報を掴むことができる [Listening] 130wpmで科学に関する話を聞いて、問いに答えるのに必要な情報を得ることができる			○	
			第3回考査			○	○	○

【その他】

社会生活で活用できるレベルの英語力の基盤を培います。

年間指導計画表

教科・科目	外国語・英語表現Ⅱ	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科普通 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書いたり話したりする能力を更に伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ることができるようにする。
使用教科書・副教材等	『be English Expression Ⅱ』(いいずな書店) <2年次からの継続> 『be 総合英語』(いいずな書店) <2年次からの継続> 『Active Writing Complete Course』(第一学習社)

2 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨	評価方法	配分
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーション能力を図ろうとする。間違えることを恐れず、自分の考えなどを表現しようとする。	小テスト、ワークシート、エッセイ、発表	25%
b. 外国語表現の能力	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	小テスト、ワークシート、エッセイ、発表、定期考査	50%
c. 言語や文化についての知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	小テスト、ワークシート、エッセイ、発表、定期考査	25%

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点		
					a	b	c
前期	4 5 6	17	Lesson 1 夢・将来(時の表し方) Lesson 2 文化・行事(動詞と文の構造) Lesson 3 ペット(助動詞) Lesson 4 情報と社会(名詞と限定詞) Lesson 5 世界の国々(代名詞) Lesson 6 外国での生活(名詞句と名詞節) Lesson 7 利便性(形容詞) Lesson 8 幸福(形容詞句)	各レッスンの“Practice”を中心に、英文を読んだり聞いたりして内容を理解したうえで、学習内容記載の表現テクニックを使って、文を自分で書いたり、話したりして相手に伝えたりできる。 より幅広い話題・場面・状況において50wpm程度の速さで即興で話すことができる。 与えられた話題について、10分間で70~80語程度の文章を書くことができる。	○	○	○
			第1回考査	○	○	○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c
前期	7 8 9	18	Lesson 9 活動(形容詞節・関係詞節) Lesson 10 社会的慣習(副詞) Lesson 11 思い出(副詞句) Lesson 12 電子機器(副詞節) Lesson 13 進路(比較) Lesson 14 想像(仮定法) Lesson 15 教訓(複文での動詞の使い方) Lesson 16 コミュニケーション(「言う」「見る」「聞く」の表現) Lesson 17 社会問題(認識の表現)	各レッスンの“Practice”を中心に、英文を読んだり聞いたりして内容を理解したうえで、学習内容記載の表現テクニックを使って、文を自分で書いたり、話したりして相手に伝えたりできる。 より幅広い話題・場面・状況において50wpm程度の速さで即興で話すことができる。 与えられた話題について、10分間で80～90語程度の文章を書くことができる。 第2回考査	○	○	○
			Lesson 18 生活と住居(許可・提案・勧誘・依頼・要望の表現) Lesson 19 旅行(存在や変化の表現) Lesson 20 健康(「させる」「される」の表現) Lesson 21 興味・関心(日本語とは違う表現方法) ○Paragraph Writing	各レッスンの“Practice”を中心に、英文を読んだり聞いたりして内容を理解したうえで、学習内容記載の表現テクニックを使って、文を自分で書いたり、話したりして相手に伝えたりできる。与えられたテーマで自分の表現したいことを段落の形で表現することができる。 より幅広い話題・場面・状況において50wpm程度の速さで即興で話すことができる。 与えられた話題について、10分間で80～90語程度の文章を書くことができる。 第3回考査	○	○	○
後期	10 11 12	18	○Paragraph Writing	与えられたテーマで自分の表現したいことを段落の形でまとめることができる。 与えられた話題について、10分間で80～90語程度の文章を書くことができる。	○	○	○
	1 2	10			○	○	○

【その他】
 前期では、教科書を使って、学習指導要領が定める「事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす」ことをめざし、2年生のときより精選したアウトプットを行っていきます。その際、必要に応じて既習の文法項目を見ながら1・2年次にて習ったことを「使える」ようになっていきます。
 後期では、段落ごとに構成を考えながらエッセイをまとめられるようにしていきます。

年間指導計画表

教科・科目	英語・英語理解	単位数	4
		学科・学年・学級	普通科国際コミュニケーションコース 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力をさらに伸ばし、社会生活において活用できるようにする。
使用教科書・副教材等	『Element English Communication III』（啓林館） 『必携英単語LEAP』（数研出版） 『NEO現代を読む Standard / Advanced』（いいずな書店） 『共通テスト英語リスニングオリジナル問題集 NEW EDITION TOUCH 10』（桐原書店） 『共通テスト英語リスニングオリジナル問題集 NEW EDITION TRY 30』（桐原書店） 『共通テスト英語リーディングオリジナル問題集 増補改訂版 TACKLE 40』（桐原書店） 英語長文問題演習【入門編Plus】（桐原書店） 英語長文問題演習【必修編Plus】（桐原書店）

2 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨	評価方法	配分
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	提出物	25%
b. 外国語表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	提出物、小テスト、パフォーマンステスト、定期考査	25%
c. 外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	提出物、小テスト、パフォーマンステスト、定期考査	25%
d. 言語や文化についての知識・理解	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を実につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	提出物、小テスト、パフォーマンステスト、定期考査	25%

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4 5 6	35	Discourse Navigator1・2	1. ミクロパラグラファーパラグラフ内の構造をつかむ 2. マクロパラグラファーパラグラフ間の構造をつかむ				○
			Lesson 1 Lies, Damned Lies, and Statistics	1. 数値データをもとに論じている様々な社会問題についての話を聞いたり、読んだりして、問いに答えるのに必要な情報だけをつかむ 2. グラフや表を見て、適切な表現を用いながら英語で描写する				
			Lesson2 Language Extinction	[Speaking] グラフや表を見ながらメモなどの準備ができれば70wpmの速さで描写したり、それについて意見を言ったりすることができる [Writing] 辞書を使わずに20分で80字程度の英語で段落間の構成を意識しながら意見を書くことができる [Reading] 数値データをもとに論じている様々な社会問題についての話(2級程度)を100wpmで読み、必要な情報を掴むことができる [Listening] 大まかな情報を聞いて理解する。必要な情報だけを聞き取ることができる	○	○		
			Lesson3 Environment or Orangutans?					
				第1回考査		○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期	7 8 9	35	Discourse Navigator3・4	3. 例示・追加・列挙のパラグラフ展開とディスコースマーカー 4. 批評読み(クリティカルリーディング)				○
			Lesson4 The Truth about Grit Lesson5 A Class from Stanford University	1. 「事実」と「意見」、「一般化した概念」を区別しながら、教育に関する文章を読んだり聞いたりして、自分が意見するのに必要な情報を批判的に得ることができる 2. 読んだことを踏まえて、自分の意見を構成(パラグラフライティング/スピーキングからエッセイライティング/スピーキングへ移行する)を意識して伝えることができる [Speaking] 読んだことをメモなどの準備ができれば70wpmの速さで、それについて意見を言うことができる [Writing] グラフや表を見ながら辞書を使わずに20分で60語程度の英語で描写することができる [Reading] 教育に関する様々な社会問題についての話(準1級程度)をディスコースマーカーに気を付けながら読み、「事実」と「意見」、「一般化した概念」を区別しながら必要な情報を掴むことができる [Listening] 教育に関する話を聞いて、問いに答えるのに必要な情報を得ることができる			○	○
			第2回考査			○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
後期	10 11 12	35	Discourse Navigator5・6・8	5. 比較・対照のパラグラフ展開とディスコースマーカー 6. 原因・結果のパラグラフ展開とディスコースマーカー 8. 未知語の推測				○
			Lesson 6 The Mpemba Effect Lesson7 Invisible Gorilla Lesson 10 All the Good things	1. 「因果関係」や「比較対照」を意識しながら、科学に関する文章を読んだり聞いたりして、ディベートするのに必要な情報を批判的に得ることができる 2. 読んだことを踏まえて、自分の意見を因果関係を意識して伝えることができる 3. 様々な随筆文を読んで、条件に応じて要約したり、必要な情報を取り出してまとめることができる [Speaking] 読んだことをメモなどの準備ができれば80wpmの速さで、それについて意見を言うことができる [Writing] 辞書を使わずに20分で80字程度の英語で因果関係や比較対照を意識しながら意見を書くことができる [Reading] 科学に関する様々な社会問題についての話(準1級程度)をディスコースマーカーに気を付けながら読み、「事実」と「意見」、「一般化した概念」を区別しながら必要な情報を掴むことができる [Listening] 130wpmで科学に関する話を聞いて、問いに答えるのに必要な情報を得ることができる			○	
			第3回考査			○	○	○

【その他】

社会生活で活用できるレベルの英語力の基盤を培います。

年間指導計画表

教科・科目	英語・英語表現	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科国際コミュニケーションコース 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書いたり話したりする能力を更に伸ばすとともに、事実や他者の意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝えることができる。
使用教科書・副教材等	『21st Century Communication Litening, Speaking, and Critical Thinking.』(National Geographic Learning) <CTクラス: 継続使用> 『The Culture Map』(PUBLIC AFFAIRS) <ATクラス: 継続使用』 『be English Expression II』(いいずな書店) <2年次からの継続> 『be 総合英語』(いいずな書店) <2年次からの継続> 『Active Writing Complete Course』(第一学習社)

2 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨	評価方法	配分
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	与えられた課題に対して推測や質問などによって理解を深めようとするとともに、積極的に話す書くなどして、主体的に課題に取り組もうとする。	小テスト、ワークシート、エッセイ、発表	25%
b. 外国語表現の能力	伝えようとする事実や意見などを、相手に分かりやすく、適切な英語表現を用いて、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝えている。	小テスト、ワークシート、エッセイ、発表、定期考査	50%
c. 言語や文化についての知識・理解	理解や表現の際に必要な英語の語彙・文法・構文・文章構成の知識、および世界情勢や異文化の背景知識を持っている。	小テスト、ワークシート、エッセイ、発表、定期考査	25%

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	
前期	4 5 6	17	<ATクラス> Lesson 1 :Low-Context vs High Context Culture Lesson 2: Different Ways of Feedback <CTクラス> Unit 1 : Small Actions, Big Results Unit 2 : Connecting to Nature	①授業最初の3分程度で、10問の文法、英作の小テストを解くことで、英語の知識を定着をさせる。 ②与えられたテーマに対して、興味を持ち、積極的に英語で話そうとする。 ③ペアやグループトークの中で、既習の文法、語彙を用いて、幅広い話題について英語で表現する。 ④140wpm程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話し手の意向などを7割程度理解する。 ⑤テーマに沿った単語や必要な表現の運用方法を身に付ける。 ⑥様々な話題について、辞書を使って約10分で80語程度の文章を書く。 第1回考査	○	○	○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c
前期	7 8 9	18	<p><ATクラス> Lesson 3 : Cultural Differences in Persuasion Lesson 4: Respect and Power Differences</p> <p><CTクラス> Unit 3 :Going Places Unit 4 : Music, Music Everywhere</p>	<p>①授業最初の3分程度で、10問の文法、英作の小テストを解くことで、英語の知識を定着させる。</p> <p>②与えられたテーマについて英語で質問したり、他者との対話によって内容理解に積極的に取り組む姿勢を養う。</p> <p>③グループによるプレゼンテーション、ディスカッション、ロールプレイの中で、相手に興味を持たせるような表現で、自分の意見などを適切な英語で表現する。</p> <p>④140wpm程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話し手の意向などを7割程度理解する。</p> <p>⑤英語の表現に適した、非言語のコミュニケーション方法を運用する。</p> <p>⑥様々な話題について、辞書を使って約10分で80語程度の文章を書く。</p> <p>第2回考査</p>	○		○
			<p><ATクラス> Lesson 5 : Decision-Making Processes Lesson 6: Multicultural Trust Building</p> <p><CTクラス> Unit 5 :Give Thanks Unit 6 : Tell Me Why...</p>	<p>①授業最初の3分程度で、10問の文法、英作の小テストを解くことで、英語の知識を定着させる。</p> <p>②与えられたテーマについて積極的に調査し、その内容をペアやグループで共有するなど、主体的に取り組む。</p> <p>③グループによるプレゼンテーション、ディスカッション、ロールプレイの中で、相手に伝わりやすい、論理的な構成で、自分の意見などを適切に表現する。</p> <p>④140wpm程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話し手の意向などを8割程度理解する。</p> <p>⑤より相手に伝わりやすい論理的な文章構成を身に付ける。</p> <p>⑥様々な話題について、辞書を用いず約12分で100語程度の文章を書く。</p> <p>第3回考査</p>	○	○	○
後期	1 2 3	17	<p><ATクラス> Lesson 7 : Effective Disagreement Lesson 8: Research</p> <p><CTクラス> Unit 7 :The Livable City Unit 8 : Life Lessons</p>	<p>①授業最初の3分程度で、10問の文法、英作の小テストを解くことで、英語の知識を定着させる。</p> <p>②他者の発表を積極的に聞き、その内容に即した質問や、内容が展開するような発言をする。</p> <p>③自他の発表において、客観的に評価し、改善を試みる。</p> <p>③グループ・個人によるプレゼンテーション、ディスカッション、スピーチにおいて、説得力のある論理的な構成で、自分の意見などを適切に表現する。</p> <p>④140wpm程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話し手の意向などを8割程度理解する。</p> <p>⑤与えられたテーマに必要な英語表現、テーマに適した文章構成を身に付ける。</p> <p>⑥様々な話題について、辞書を用いず約12分で100語程度の文章を書く。</p> <p>第4回考査</p>	○	○	○
【その他】							

年間指導計画表

教科・科目	英語・コミュニケーション	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科国際コミュニケーションコース 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	英語「模擬国連」によるコミュニケーション活動を通して、賛否両論のある問題に積極的に関わり、互いの意志疎通と協議を活発に行おうとする積極的な態度を養うとともに、論点を的確に把握する理解能力と、論理的かつ効果的に意見を述べる表現能力を身につけ、英語で議論する能力を向上する。
使用教科書・副教材等	『Element English Communication Ⅲ』(啓林館) 自作教材

2 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	パフォーマンステスト	25%
b. 思考・判断・表現	英語で読み取った内容について、情報や考えなどを整理し適切に伝えている。	パフォーマンステスト	25%
c. 技能	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	パフォーマンステスト	25%
d. 知識・理解	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	パフォーマンステスト	25%

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	8	世界の課題についてのリサーチ	国連発行の記事から世界の課題の概要を聞いたり読んだりして、理解する。			○	
	5	8	アジェンダ設定	世界の課題について、情報や考えを英語で話したり書いたりして伝える。その上で、今年度のアジェンダを決定する。	○	○		
	6	8	アジェンダのリサーチ&まとめ	設定したアジェンダについて、関連資料を英語で聞いたり読んだりして、理解する。 (考査は実施せず、レポート提出を課す)			○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期	7 8 9	24	アカデミックライティング	ポジションペーパーおよびパブリックスピーチにおいて必要な提携表現や文体、引用のルールやまとめ方に関する知識を学ぶ。				○
			ポジションペーパーの策定	アジェンダについて、自国の立場でポジションペーパーを英語で書く。		○		○
			パブリックスピーチ原稿の策定	自国に関する情報を紹介するパブリックスピーチ原稿を英語で書く。 (考査は実施せず、レポート提出を課す)		○		○
後期	10 11 12	24	会議練習	ディスカッションやディベート、スピーチなどの活動を通して、自分の意見を英語で話して表現する。	○	○		
			模擬国連会議	模擬国連会議を通して、英語の4技能を統合的に練習し、決議案を英語で作成する。 (考査は実施せず、レポート提出を課す)	○	○	○	○
	1 2	16	ふりかえり(論文作成)	3年間の振り返りを行うと共に、卒業後に向けて、自己の「現状と課題」を振り返り、それを英語でまとめる。	○	○		
定期考査は行わずに、英語論文及び決議案の提出と会議での英語パフォーマンスから多角的に評価し、成績を出す。								

年間指導計画表

教科・科目	英語・時事英語	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科国際コミュニケーションコース 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	(1)TV・新聞・雑誌・情報通信ネットワークなどに使われる英語の基礎的な知識と技術を習得する。 (2)多様な話題について理解することができ、社会問題などについて客観的な視点を持ちながら英語で表現することができる。
使用教科書・副教材等	『Revised ELEMENT English Communication III』(啓林館) 『CNN Comprehensive Trainer 2023(朝日出版社)』 英字新聞、TV、インターネット上の資料等

2 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨	評価方法	配分
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	振り返りシート 授業内観察	30%
b. 外国語表現の能力	社会問題などの多様な話題・場面・状況において、自分の意見や考えを口頭や文章で伝えることができる。	定期考査 授業内観察	40%
c. 外国語理解の能力	180WPM程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話し手の意向などを8割程度理解できる。また、英字新聞の記事等を読んで8割程度理解できる。	定期考査	20%
d. 言語や文化についての知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。	定期考査	20%

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	16	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールトーク ・ニュース等の読みとり、聞きとり ・プレゼンテーション① ・ポートフォリオ 	①スピーキングへの慣れを養う ②180wpm程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話し手の意向などを8割程度理解できる。また、英字新聞の記事等を8割程度理解できる。 ③必要な情報を選び活用する基礎的な能力を養い、また聴衆を惹きつけるプレゼンテーションの技術を身に付ける。 ④授業やプレゼンへの取り組みで努力したことや学んだことを記入し、今後の授業やプレゼンに活かしていく。 第1回考査	○	○	○	○
	5 6				○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期	7 8 9	16	・スモールトーク ・ニュース等の読みとり、聞きとり ・プレゼンテーション② ・ポートフォリオ	①スピーキングへの慣れを養う ②180wpm程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話しての意向などを8割程度理解できる。また、英字新聞の記事等を8割程度理解できる。 ③必要な情報を選び活用する基礎的な能力を養い、また聴衆を惹きつけるプレゼンテーションの技術を身に付ける。 ④授業やプレゼンへの取り組みで努力したことや学んだことを記入し、今後の授業やプレゼンに活かしていく。 第2回考査	○	○	○	○
後期	10 11 12	16	・スモールトーク ・ニュース等の読みとり、聞きとり ・読みとったり、聞き取ったりしたニュース等について話す ・プレゼンテーション③ ・ポートフォリオ	①スピーキングへの慣れを養う ②180wpm程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話しての意向などを8割程度理解できる。また、英字新聞の記事等を8割程度理解できる。 ③理解した情報をもとに情報発信をする能力を養う。 ④必要な情報を選び活用する基礎的な能力を養い、また聴衆を惹きつけるプレゼンテーションの技術を身に付ける。 ⑤授業やプレゼンへの取り組みで努力したことや学んだことを記入し、今後の授業やプレゼンに活かしていく。 第3回考査	○	○	○	○
	1	10	・スモールトーク ・ニュース等の読みとり、聞きとり ・読みとったり、聞き取ったりしたニュース等について話す ・マイクロディベート ・ポートフォリオ	①スピーキングへの慣れを養う ②180wpm程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話しての意向などを8割程度理解できる。また、英字新聞の記事等を8割程度理解できる。 ③理解した情報をもとに情報発信をする能力を養う。 ④あるトピックについて、自分の意見を理由や根拠とともに伝える力を養う。 ⑤1年間の授業で学んだことやできるようになったことを振り返る。	○	○	○	○
【その他】 普段から国内外のニュースに広く興味を持ち、今問題になっていることを自分自身で情報収集するとともに、そのニュースに対して自分の考えや意見を持つことが大切です。そして、その考えや意見を英語で発信できるように訓練するのがこの時事英語の授業で取り組むことです。また、プレゼンテーションのノウハウを学び、実際にプレゼンの発表をします。								

年間指導計画表

教科・科目	英語・通訳演習	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科・第3学年・国際コミュニケーションコース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	英語を日本語に、日本語を英語に正しく的確に通訳することができるような基礎的な力をつけ、その運用ができるようにする。
使用教科書・副教材等	・『通訳とコミュニケーションの総合演習』（南雲堂） ・自作プリント

2 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨	評価方法	配分
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・ニュース記事、物語文、論説文など、英語を用いた様々な題材に幅広い関心を持ち、その内容について正しく解釈しようとする意欲を持っている。 ・正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて英語を読み、話そうとしている。	・定期考査(面接)の得点 ・各種パフォーマンスでの評価点 ・授業中の様々な表現活動	25%
b. 外国語表現の能力	・英語で話される情報や考えを正しく聴き取り、目的に応じて解釈できる。 ・英語で書かれている情報や考えを正しく読み取り、目的に応じて解釈できる。 ・読み取ったり聞き取った内容について、英語や日本語で要約したり解釈したりすることができる。	・定期考査の得点 ・各種パフォーマンスでの評価点 ・授業中の様々な表現活動	25%
c. 外国語理解の能力	・読解、聴解のために必要な語彙能力、文法知識を習得している。 ・多様なリーディング・ストラテジー、リスニング・ストラテジーを持っている。 ・自らの意図や気持ちを的確に伝えるための語彙を始めとする適切な表現力を持っている。	・定期考査の得点 ・各種パフォーマンスでの評価点 ・授業中の様々な表現活動	25%
d. 言語や文化についての知識・理解	英語とその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。	・定期考査の得点 ・各種パフォーマンスでの評価点 ・授業中の様々な表現活動	25%

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4 5 6	17	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニング・パワーアップ ・リピーティング① ・単語クイック・レスポンス ・セグメント判断 ・数字クイック・レスポンス ・シャドーイング ・頭ごなし訳のテクニック① ・頭ごなし訳のテクニック② ・サイト・トランスレーション ・リテンション練習 ・通訳メモ 	<ul style="list-style-type: none"> ①速聴訓練の一環として音読速度を高める ②くり返して聞き、くり返して音声化することによって瞬時に訳出できるまで語句や表現を定着させる ③即時反応訓練により正確で自然な訳出の基礎となる語彙増強を図る ④英語の語順でセンテンスを理解する練習により、英語による発想法を習熟させる ⑤長い文章を訳出する際必要となる短期記憶能力を高める 				○
					○	○	○	○
				第1回考査	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期	7 8 9	18	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニング・パワーアップ ・区切り聞き① ・単語クイック・レスポンス ・セグメント判断 ・数字クイック・レスポンス ・シャドーイング ・頭ごなし訳のテクニック① ・頭ごなし訳のテクニック② ・サイト・トランスレーション ・リテンション練習 ・通訳メモ 	①速聴訓練の一環として音読速度を高める ②くり返して聞き、くり返して音声化することによって瞬時に訳出できるまで語句や表現を定着させる ③即時反応訓練により正確で自然な訳出の基礎となる語彙増強を図る ④英語の語順でセンテンスを理解する練習により、英語による発想法を習熟させる ⑤長い文章を訳出する際必要となる短期記憶能力を高める 第2回考査	○	○	○	○
後期	10 11 12	18	<ul style="list-style-type: none"> ・区切り聞き② ・リプロダクション ・短いパラグラフ逐次通訳 ・ワンセンテンス遅れの通訳練習 ・簡単な同時通訳 	①リスニング、リテンション、構文組立、表現力、デリバリーの総合練習を通じて、自分の言葉で表現する技能を高める ②記憶を整理しながら情報を保持する練習を行なう ③直聴直解したものを口答訳出することによって即時的表現力を総合的に高める 第3回考査	○	○	○	○
	1 2	10	<ul style="list-style-type: none"> ・リプロダクション ・短いパラグラフ逐次通訳 ・ワンセンテンス遅れの通訳練習 ・簡単な同時通訳 	①リスニング、リテンション、構文組立、表現力、デリバリーの総合練習を通じて、自分の言葉で表現する技能を高める ②記憶を整理しながら情報を保持する練習を行なう ③直聴直解したものを口答訳出することによって即時的表現力を総合的に高める	○	○	○	○
【その他】 『通訳演習』は、通訳技能のトレーニングを行うことによって、シャドーイングとサイトトランスレーションを中心に、コミュニケーション手段としての英語総合力を磨く。								

年間指導計画表

教科・科目	英語・英語演習	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科国際コミュニケーションコース 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	(1)英語の「読む」「書く」「話す」という技術向上のために、文法・語法の知識を身につける。 (2)正しい文法・語法を学習し、実践的な読解力・表現力を身につける。
使用教科書・副教材等	『be English Expression II』(いいずな書店) 『Vintage 3rd. Edition 準拠実践問題集 Drive』(いいずな書店)

2 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨	評価方法	配分
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	提出物	25%
b. 外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	提出物、小テスト、定期考査	25%
c. 外国語理解の能力	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	提出物、小テスト、定期考査	25%
d. 言語や文化についての知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	提出物、小テスト、定期考査	25%

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4 5 6	22	時制・受動態・助動詞 仮定法・不定詞 動名詞・分詞 関係詞	・これまでに学習した文法・語法・構文を活用して、正確に英文を理解したり、表現したりすることができるようになる。 第1回考査	○	○	○	○
					○	○	○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期	7 8 9	16	接続詞・前置詞・比較 主語と述語動詞の一致 疑問文・否定 語順(倒置)・省略・強調 話法	・これまでに学習した文法・語法・構文を活用して、正確に英文を理解したり、表現したりすることができるようになる。 第2回考査	○	○	○	○
								○
後期	10 11 12	14	動詞の語法、名詞の語法、代名詞の語法、 形容詞の語法、副詞の語法 イディオム	・これまでに学習した文法・語法・構文を活用して、正確に英文を理解したり、表現したりすることができるようになる。 第3回考査	○	○	○	○
								○
	1 2	10	会話表現 語彙問題 重要多義語	・これまでに学習した文法・語法・構文を活用して、正確に英文を理解したり、表現したりすることができるようになる。	○	○	○	○
【その他】 英語の運用能力の向上のために、文法や語法の正確な理解に基づいた運用面の向上を目指して、積極的に演習を重ねましょう。								

年間指導計画表

教科・科目	英語・異文化理解	単位数	1
		学科・学年・学級	普通科・第3学年・国際コミュニケーションコース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	英語によるコミュニケーション活動を通して、賛否両論のある問題に積極的に関わり、互いの意志疎通と協議を活発に行おうとする積極的態度を養うとともに、論点を的確に把握する理解能力と、論理的かつ効果的に意見を述べる表現能力を身につけ、英語で議論する能力を向上する。
使用教科書・副教材等	『Element English Communication III』(啓林館) 自作教材

2 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨	評価方法	配分
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	授業内活動 授業内発表	25%
b. 外国語表現の能力	身近な問題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。	授業内発表 レポート 論文	25%
c. 外国語理解の能力	身近な問題について、英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを英語で理解する。	授業内発表 レポート 論文	25%
d. 言語や文化についての知識・理解	身近な問題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。	授業内発表 レポート 論文	25%

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
期前	4 5	8	理由付け 論点の把握 学術英語の書き方・話し方(基礎)	賛否を英語で述べる際に、具体的な理由付けができるようになる。 様々なジャンルの英文を読んで論点を素早く正確に把握できるようになる。 普段の英語を学術英語に書き換えたり話し換えたりできるようになる。 (考査は実施せず、レポート提出を課す)	○	○	○	○
					○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期	7 8 9	8	盗用について	リサーチプロジェクトにおいて必要な盗用に関する知識を英語で学ぶ。				○
			引用について	リサーチプロジェクトにおいて必要な引用に関する知識を英語で学ぶ。				○
			リサーチプロジェクト	与えられたテーマに基づくディスカッションを通して、自分なりの意見をまとめる力を養うとともに、1000語程度の英文で論文にまとめる (考査は実施せず、レポート提出を課す)		○		○
後期	10 11 12	9	リサーチプロジェクト	与えられたテーマに基づくディスカッションを通して、自分なりの意見をまとめる力を養うとともに、1000語程度の英文で論文にまとめる		○		○
			英語の方言	様々な英語を聞いたり読んだりして、書いたり話したりできるようになる。 (考査は実施せず、論文提出を課す)		○	○	○
						○	○	○
	1 2	5	リサーチプロジェクト	与えられたテーマに基づくディスカッションを通して、自分なりの意見をまとめる力を養うとともに、1000語程度の英文で論文にまとめる		○		○
【その他】 副教材の補充として必要に応じたプリント教材を使用する。 定期考査は行わずに、英語論文及び決議案の提出と会議での英語パフォーマンスから多角的に評価し、成績を出す。								